

<マニュアル訂正連絡票>

ASP CSPWORKS 使用手引書 V24

[J2K0-5024-01-G2]

2018年8月28日発行

修正箇所（章節項）： 6.1 検索項目ファイル登録

旧記事

6.1 検索項目ファイル登録

検索項目一覧表（検索項目ファイル使用）を出力する場合、あらかじめ検索文字列を検索項目ファイル登録画面で検索項目ファイルに登録しておく。

又は、検索項目一覧表（検索項目ファイル使用）の検索項目一覧表詳細設定画面で、PF24 を押すと検索項目ファイル登録画面が表示されるので、検索項目ファイルに検索文字列を登録することができる。

新記事

6.1 検索項目ファイル登録

検索項目一覧表（検索項目ファイル使用）を出力する場合、あらかじめ検索文字列を検索項目ファイル登録画面で検索項目ファイルに登録しておく。

又は、検索項目一覧表（検索項目ファイル使用）の検索項目一覧表詳細設定画面で、PF24 を押すと検索項目ファイル登録画面が表示されるので、検索項目ファイルに検索文字列を登録することができる。

なお、日本語を入力した場合は、日本語入力後に DELETE キーを 2 回押下してから登録する。

修正箇所（章節項）： 7.3.2 項目検索リスト（検索項目画面入力）

旧記事

① 検索する文字列（最大：10 個）

オブジェクト内の文字列を入力可能（空白：検索を行わない）。英数字又は日本語の入力が可能。ただし、検索対象となるオブジェクトは SRC 属性の原始テキスト及び、画面・帳票定義体、ファイル定義体である（SRC 属性：BUNSHO は除く）。

画面・帳票定義体、ファイル定義体の場合、下記が検索対象となる。

新記事

① 検索する文字列（最大：10 個）

オブジェクト内の文字列を入力可能（空白：検索を行わない）。英数字又は日本語の入力が可能。ただし、検索対象となるオブジェクトは SRC 属性の原始テキスト及び、画面・帳票定義体、ファイル定義体である（SRC 属性：BUNSHO は除く）。

なお、日本語を入力した場合は、日本語入力後に DELETE キーを 2 回押下してから検索する。

画面・帳票定義体、ファイル定義体の場合、下記が検索対象となる。

修正箇所 (章節項) : 7.3.17 検索項目一覧表 (検索項目画面入力)

旧記事

① 検索する文字列 (最大 : 10 個)

オブジェクト内の文字列を入力可能 (空白 : 検索を行わない).

英数字又は日本語入力が可能. ただし, 検索対象となるオブジェクトは SRC 属性の原始テキスト及び, 画面・帳票定義体, ファイル定義体である (SRC 属性 : BUNSHO は除く).

画面・帳票定義体, ファイル定義体の場合, 下記が検索対象となる.

新記事

① 検索する文字列 (最大 : 10 個)

オブジェクト内の文字列を入力可能 (空白 : 検索を行わない).

英数字又は日本語入力が可能. ただし, 検索対象となるオブジェクトは SRC 属性の原始テキスト及び, 画面・帳票定義体, ファイル定義体である (SRC 属性 : BUNSHO は除く).

なお, 日本語を入力した場合は, 日本語入力後に DELETE キーを 2 回押下してから検索する.

画面・帳票定義体, ファイル定義体の場合, 下記が検索対象となる.

修正箇所 (章節項) : 7.3.19 検索項目一覧表 FFD (検索項目画面入力)

旧記事

① 検索する文字列 (最大 : 10 個)

オブジェクト内の文字列を入力可能 (空白 : 検索を行わない).

英数字又は日本語の入力が可能. ただし, 検索対象となるオブジェクトはファイル定義体である.

ファイル定義体の場合, 下記が検索対象となる.

新記事

① 検索する文字列 (最大 : 10 個)

オブジェクト内の文字列を入力可能 (空白 : 検索を行わない).

英数字又は日本語の入力が可能. ただし, 検索対象となるオブジェクトはファイル定義体である.

なお, 日本語を入力した場合は, 日本語入力後に DELETE キーを 2 回押下してから検索する.

ファイル定義体の場合, 下記が検索対象となる.

修正箇所 (章節項) : 7.3.21 検索項目一覧表 MED (検索項目画面入力)

旧記事

① 検索する文字列 (最大 : 10 個)

オブジェクト内の文字列を入力可能 (空白 : 検索を行わない).

英数字又は日本語の入力が可能. ただし, 検索対象となるオブジェクトは画面・帳票定義体 (MED) である.

画面・帳票定義体の場合, 下記が検索対象となる.

新記事

① 検索する文字列 (最大 : 10 個)

オブジェクト内の文字列を入力可能 (空白 : 検索を行わない).

英数字又は日本語の入力が可能. ただし, 検索対象となるオブジェクトは画面・帳票定義体 (MED) である.

なお, 日本語を入力した場合は, 日本語入力後に DELETE キーを 2 回押下してから検索する.

画面・帳票定義体の場合, 下記が検索対象となる.

修正箇所 (章節項) : 7.3.23 検索項目一覧表 SMED (検索項目画面入力)

旧記事

① 検索する文字列 (最大 : 10 個)

オブジェクト内の文字列が入力可能 (空白 : 検索を行わない)。

英数字又は日本語の入力が可能。ただし、検索対象となるオブジェクトは画面・帳票定義体 (SMED) である。

画面・帳票定義体の場合、下記が検索対象となる。

新記事

① 検索する文字列 (最大 : 10 個)

オブジェクト内の文字列が入力可能 (空白 : 検索を行わない)。

英数字又は日本語の入力が可能。ただし、検索対象となるオブジェクトは画面・帳票定義体 (SMED) である。

なお、日本語を入力した場合は、日本語入力後に DELETE キーを 2 回押下してから検索する。

画面・帳票定義体の場合、下記が検索対象となる。

修正箇所 (章節項) : 「付録 K ASP 同士の移行」を追加します。

旧記事

新記事追加

新記事

付録K ASP同士の移行

本章では、GSPWORKSの辞書格納ライブラリを、他のASPシステムのGSPWORKSへ移行する方法について示す。

以下の手順で移行する。

- 1) 移行先のASPシステムにて、GSPWORKSの環境設定を行う。
- 2) 移行元のASPシステムにて、SAVLIBコマンドでXTXDICライブラリを退避する。
コマンド例) SAVLIB LIB-XTXDIC, TODEV-装置名
- 3) 移行先のASPシステムにて、2) で退避したライブラリをRSTLIBコマンドで復元する。
コマンド例) RSTLIB LIB-XTXDIC, TOLIB-XTXDIC, DEV-装置名, REPLACE-@MIXED
- 4) 移行先のASPシステムにて、GSPWORKSコマンドでRDBファイルを活性化する。
コマンド例) GSPWORKS MODE-@RECOV

2014年2月21日発行

修正箇所 (章節項) : 13.2.6 プログラム設計書 の2) 画面定義体作成の留意事項

旧記事

・ガイドメッセージ, エラーメッセージは日本語, 混在または英数字項目で指定する。項目名はそれぞれ, "GIDMSG", "ERRMSG" とする事が望ましい。
(ただし, 変更可能)

新記事

・ガイドメッセージ, エラーメッセージは日本語, 混在または英数字項目で指定する。項目名はそれぞれ, "GIDMSG", "ERRMSG" とする事が望ましい。
(ただし, 変更可能)

・繰返し数は, 集団項目に指定する。基本項目に繰返し数が指定されている場合, その基本項目からなる集団項目を作成し, その集団項目に繰返し数を指定するよう修正する。

修正箇所 (章節項) : E.1 画面に表示されるメッセージ の4) その他の機能で表示されるメッセージ

旧記事

D2002 ログの内容を確認して下さい

対処:

ドキュメント作成時, エラーが存在した為, CSPWORKS ログ等を確認し, 環境を見直す.

新 記 事

D2002 ログの内容を確認して下さい

対処:

ドキュメント作成時, エラーが存在した為, CSPWORKS ログ等を確認し, 環境を見直す.

D2004 整列処理が正常終了しませんでした

原因:

整列処理がエラー終了した.

対処:

ジョブの実領域サイズまたは, 仮想領域サイズを拡張して再実行する.

以上